

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

## JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



ルサカ郡保健局によって開催された郡内5病院を対象とした5日間の質改善研修。グループワークの様子(2026年2月23日から27日)

ルサカ郡内の5つの一次レベル病院が質改善研修に参加

ルサカ州保健局、汚染除去とIPCラウンドの作業手順の標準化を協議

チェルストン・ミニ病院、2026年のバランスト・スコアカードを更新



## ルサカ郡内の5つの一次レベル病院が質改善研修に参加

2026年2月23日から27日までの5日間、ルサカ郡保健局が主導し、ルサカ郡内の5つの一次レベル病院を対象に、質改善(QI)研修が開催された。研修内容には、質改善で名高いカニャマ一次レベル病院の研修コンテンツが取り入れられています。JICAカシオペアプロジェクトも、ルサカ郡保健局によるこのイニシアティブを支援しました。

郡保健局が本研修で掲げた目標は、ルサカ郡内の各地区・施設が主導して継続的質改善(CQI)を導入することです。各病院が、シニアマネジメントの意思決定と強固に結び付いた、機能的で説明責任のある質改善・質保証(QI/QA)の体制を確立すること、保健情報システム(HMIS/DHIS2)や日々の活動を介して集まるサービスデータの活用を促すこと、バランスド・スコアカード(BSC)の指標の達成度を予

算とともに追跡できるようにすること、郡の優先課題を考慮してもらい、質改善のアクションプランを作成することも目標でした。さらに、ルサカ郡全体で縦割りの体質を改善し、郡全体で連携を強め、説明責任を共有することも期待されました。また、カニャマ一次レベル病院が先駆けとなり、持続可能な郡レベルの質改善学習プラットフォームの設立も目標に掲げられました。

参加者は、カニャマ一次レベル病院のシニアマネジメントと医療従事者に加え、ルサカ郡内の全地区から、管理職や質改善担当者、診療部門、看護・助産部門、計画部門、保健情報部門、支援部門など、業績マネジメントと質改善の実装に関与する多様な職員でした。

ルサカ郡保健局のマセカ局長は開会式で、「質改善を日々の業務に組み込み、病院長室から一般職員まで



質改善研修で開会の挨拶をするルサカ郡保健局のマセカ局長

全員が、利用者に提供するサービスの中心に据えるべきだ」と強調しました。あわせて、当事者意識、革新性、実行力をもって課題解決に取り組むよう参加者を激励しました。また、JICAによる人材育成支援にも「JICAはどんな状況でも変わらず支えてくれるパートナーである」と謝意を示し、参加者に、研修後も施設間で協力を続け、ルサカ郡の健康アウトカム改善につなげるよう呼びかけました。

研修のファシリテーターの1人で、カニャマ一次レベル病院のQIコーディネーターであるムチンタ氏は、プロジェクトが一次レベル病院に提供してきた継続的な技術支援に感謝を述べました。また、継続的質改善(CQI)と、その活用の仕方を、医療従事者がもっと学べる機会が増えることを期待したいと語りました。

参加者の1人であるチレンジェ一次

レベル病院のサウエロ氏(小児科看護師)は、質改善研修のために各病院が一堂に集まる機会を設けてくれたルサカ郡保健局に謝意を示しました。さらに、双方向の学びがあり、有益な5日間の研修を提供してくれたファシリテーターにも感謝しました。この研修を通じて、医療施設が直面する問題や課題を見極めるための理解が深まったとも述べました。また、職員として、得られた知識を活用し、直面する課題に対して施設内で解決策を検討できるようになったと話しました。

研修の終わりに、各施設は演習で作成した質改善プロジェクトの計画を完成させ、提出することを求められました。ファシリテーターと研修参加者は、提出された質改善計画を相互にレビューし、助言する予定です。本研修は終始、このような双方向のやりとりが重視されました。



ルサカ郡保健局が開催した5つの一次レベル病院向け質改善研修での集合写真

## ルサカ州保健局、汚染除去とIPCラウンドの作業手順の標準化を協議

ルサカ州保健局は2026年2月5日に、ルサカ郡の5つの一次レベル病院で、過去3年間使用されてきた、汚染除去、廃棄物管理、感染予防管理 (IPC) ラウンドの3つの標準作業手順書 (SOPs) をルサカ州として標準化するための協議を行いました。

会議には、ルサカ郡内の5つの一次レベル病院 (チャワマ、チレンジエ、チパタ、カニヤマ、マテロ) のチームのほか、大学教育病院 (レヴィ・ムワナワサ、小児・新生児病院および成人病院を含む)、国立心臓病院、ならびにルサカ郡保健局とルサカ州保健局のチームが参加しました。

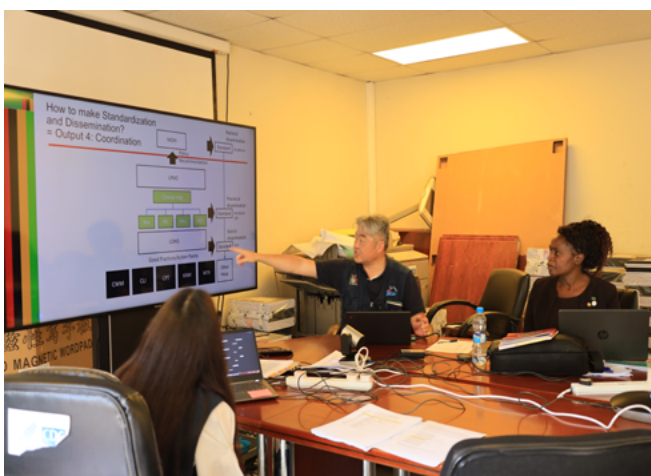
参加者は、各施設の感染予防管理 (IPC) の実践を主導する環境保健技術者 (EHT)、感染予防・管理 (IPC) を担当する医師と看護師、微生物検査担当者、病院情報担当者、公衆衛生コーディネーター、手術室コーディネーターでした。

5つの一次レベル病院がそれぞれ作成した3種類の標準作業手順書 (SOPs) を、州レベルで標準化する

ことにより、州内の他の医療施設でも一貫したサービスの質が確保でき、病院職員と患者双方の安全確保に寄与すると期待されています。

当日、ルサカ州保健局長の代理で参加したカヤウェ氏 (公衆衛生専門家) は、参加者に対し、この州としての標準化のプロセスに全面的に取り組み、患者、職員、地域社会を守るために役立つ文書を作成するよう呼びかけました。カヤウェ氏は、さらに、各標準作業手順書 (SOP) の目的について次のように述べました。

1. 汚染除去のSOPは、機器や環境表面を適切に洗浄・消毒するための指針となります。
2. IPCラウンドのSOPは、感染管理上の課題を先回りして監視し、対処する助けとなります。
3. 廃棄物管理のSOPは、廃棄物を安全かつ責任を持って取り扱い、処分することを確実にします。



ルサカ州保健局で感染予防管理の標準化会議に参加する村井チーフとチブーラ主任環境保健技術者



ルサカ州で使用することとなった手術後感染 (SSI) 検査室用様式を紹介するマクニカ氏 (国立心臓病院)

さらに、参加者は、5つの一次レベル病院で試験導入が進められてきた手術部位感染 (SSI) チェックリストの最終化と活用方法も協議しました。

会場からは、同チェックリストは5つすべての一次レベル病院で使用が徹底されているわけではないことが指摘されました。その理由として、チェックリストの存在がスタッフに十分認知されていないことや、たとえ認知していたとしても行動に移す意識が十分でないことなどが挙げられました。

これらに対処するために責任部門を指定することとなり、手術室が同チェックリストを管理することになりました。手術室は手術部位感染 (SSI) への関与が最も大きく、引き継ぎを十分に行うことで、術前・術後に症例を確認できると期待されています。

さらに参加者は、手術部位感染 (SSI) のための検査様式について協

議し、承認しました。同様式は、国立心臓病院、チパター一次レベル病院とマテロ一次レベル病院が共同で作成し、本標準化会議に提案しました。

SSIが疑われる症例は、これまでのルーチンに従って、検査ごとに別々の様式を作成すると記入作業が重複するため、今回承認したSSI検査室用様式を使用することに合意しました。

閉会にあたり、ルサカ州保健局のチボーラ氏 (主任環境保健担当官) は、対面とオンラインで参加した全ての出席者に謝意を述べるとともに、ルサカ州内のすべての施設で感染予防管理の実践が継続されるよう、ルサカ州保健局として引き続き支援していくことを改めて強調しました。



感染予防管理 (IPC) の標準化会議で開会の挨拶をするルサカ州保健局のカヤウェ公衆衛生専門家

## チェルストン・ミニ病院、2026年のバランスト・スコアカードを更新

2026年2月10日、チェルストン・ミニ病院で2025年6月24日から26日にかけて開催されたバランスト・スコアカード(BSC)研修の受講生が一同に会し、バランスト・スコアカードの更新について協議しました。

同研修は、JICAとザンビアJICAフェローシップ協会(ZAJIFA)の支援を受けて実現しました。今回の会合では、バランスト・スコアカードに設定した指標の達成状況と、直面した課題を考慮して、新たな目標を設定したり、設定した目標の達成方法を議論しました。

新たな目標として、例えば、産前健診に子どもを連れてくる母親の人数を増やすこと、患者から寄せられる苦情のうち、待ち時間の苦情を減らすこと、食品販売業者による証明書の取得割合を増やすこと、人事部門の対応を効率化すること、が挙げられました。

会合の終わりには、チパター一次レベル病院のカネクワ氏(プランナー)、チェルストン・ミニ病院のシバンダ院長とカゼンベ氏(プランナー)が、参加者にバランスト・スコアカード(BSC)研

修の受講証を授与しました。受講証は、JICAとZAJIFAから発行されました。シバンダ院長は参加者がJICAのバランスト・スコアカード(BSC)研修を受講した限られた人材であると述べ、バランスト・スコアカード(BSC)は保健省のミッション達成とチェルストン・ミニ病院のビジョン・価値観の実現に不可欠なツールであると強調しました。

シバンダ院長はまた、地域の人々が利用しやすい医療を提供するため、研修で学んだことを活かし、計画立案をより戦略的かつ効率的に行うよう、参加者を促しました。

カネクワ氏は、病院とその職員が大切にしているビジョンと価値観を実現するため、計画段階でバランスト・スコアカードを活用しようとする参加者の積極的な姿勢に感謝を述べました。あわせて、チェルストン・ミニ病院で初めて開催された研修を技術面と財政面で支援してくれたJICAとZAJIFAに感謝の言葉を述べました。



研修の修了証を受け取る参加者



バランスト・スコアカード(BSC)の更新会議で進行を務めるカゼンベ氏(プランナー)

PHOTO FOCUS



質改善 (QI) 研修で発表を聞くファシリテーター



標準化会議で発表するチブーラ主任環境保健技術者



チェルストン・ミニでのバランス・スコアカード (BSC) 更新会議に参加する各部門長



質改善 (QI) 研修で改善活動を発表するチレンジェ病院からの参加者



質改善 (QI) 研修でグループワークに取り組むカニヤマ病院の参加者



感染予防管理 (IPC) 標準化会議の参加者



バランス・スコアカード (BSC) レビュー会議で各部門長を迎えるシバンダ院長 (チェルストン・ミニ病院)

編集・デザイン: コンベ カパタモヨ  
編集: 萩原 悠  
編集長: 村井 真介

連絡先  
村井 真介 ルサカ郡病院運営管理能力強化  
プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,  
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka, 10101,  
ZAMBIA  
Cell: +260 765 192 865 (official)